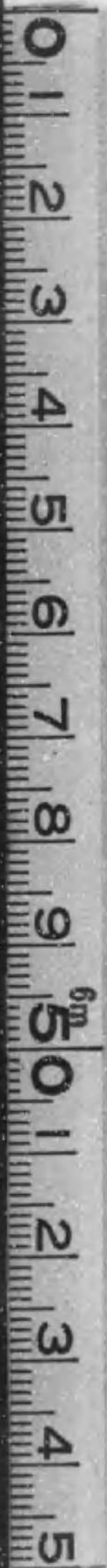


特273
703



始



137
703

動物之架一

鳥獸同育場

自273
703



全部寫真版及原色版

動物之架

(第一號)

一部金五拾錢(切手代用良)

名古屋市中區岩井町三番地

社本鳥獸販賣部

◎内外國鳥獸卸小賣
◎珍鳥餌料シイト
◎附屬器具一式

名古屋市中區西脇町百三十二番地
飼育場 社本鳥獸飼育場

電話南二〇八三番

同 市同區岩井町三番地

販賣部 社本鳥獸販賣部

電話 番

同 市南區西築港一號地高砂町一丁目

(新設中) 社本鳥獸輸出入商店

茲に動物界の趣意につき不肖場主簡單に御挨拶に換へ申上げます。

三十有餘年間動物類を飼育致しますが獸はけものに付食物の變化に依て晝夜活動の差別又は食を喰ふ有様吠へる音等あり鳥はとりで愛翫すべき鳥、巢引する鳥、鶯の如く聲を聴く色々な特長等があつて研究すると段々趣味が深くなります。一々其鳥獸につきまして不肖場主撮影したる動物を寫真版印刷し年來三部位宛當場より契を印刷致します故、御纏め下さいますて趣味有る諸君に御覽に供したき所存です。

場主敬白

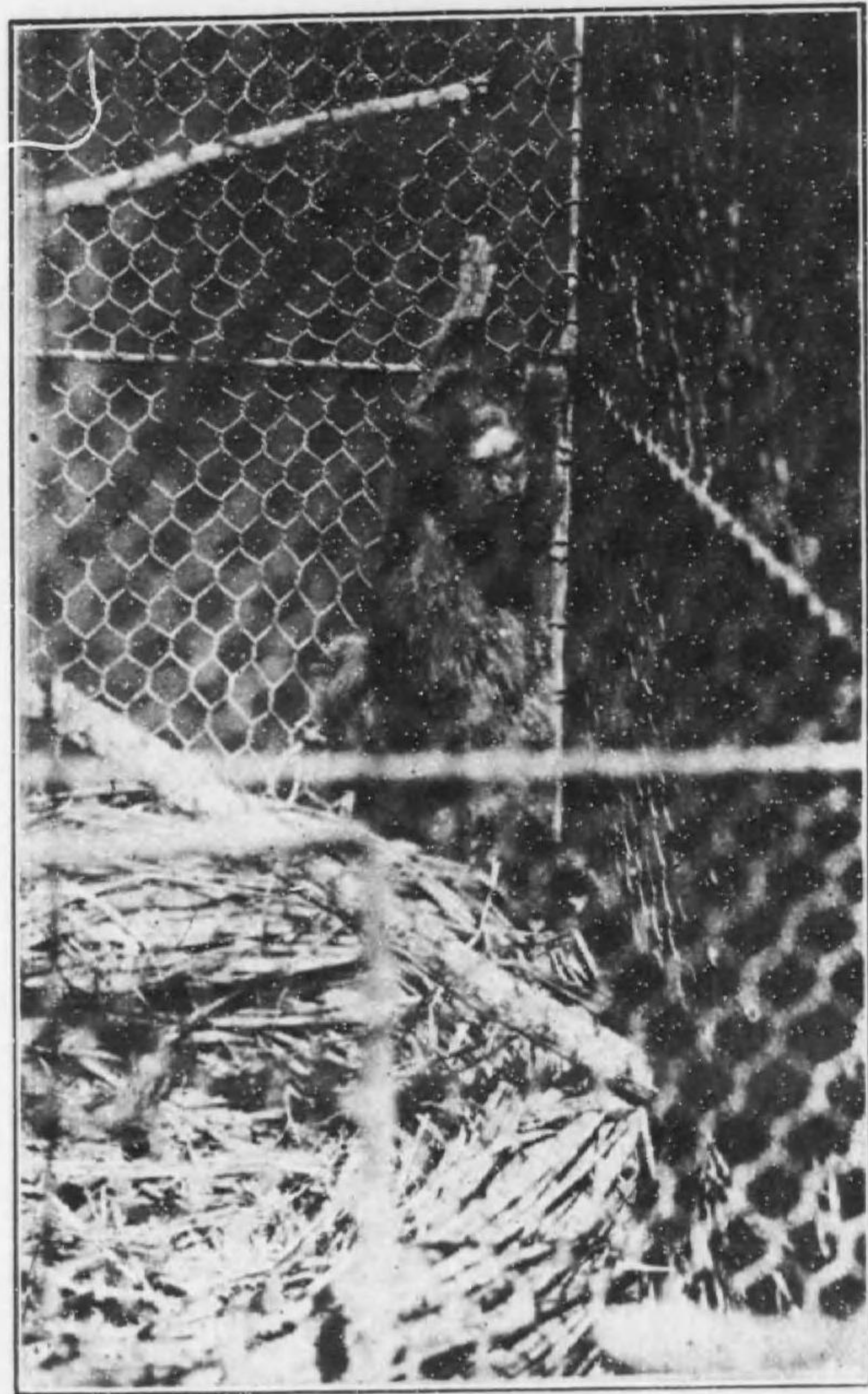
猿 白



さ
る (猿)

此猿は毛色薄赤、尾長く能く人に
馴れ寒さを忍ぐ、内地にて赤毛猿
と云ふ種は此猿なり。

鼠 木



白 猿

此猿は南米産にて毛色白く尾無
く顔黒く手長く能く人に馴れ温
順なり。

猿 黒



ほけつと猿

此猿は木鼠と稱するなり。其型小さく約百々目内外にて尾は極長く顔は猿に似、手足の指は鼠の如し、耳毛の白と黒色の二種有り南洋に産す常食甘芋、葡萄。

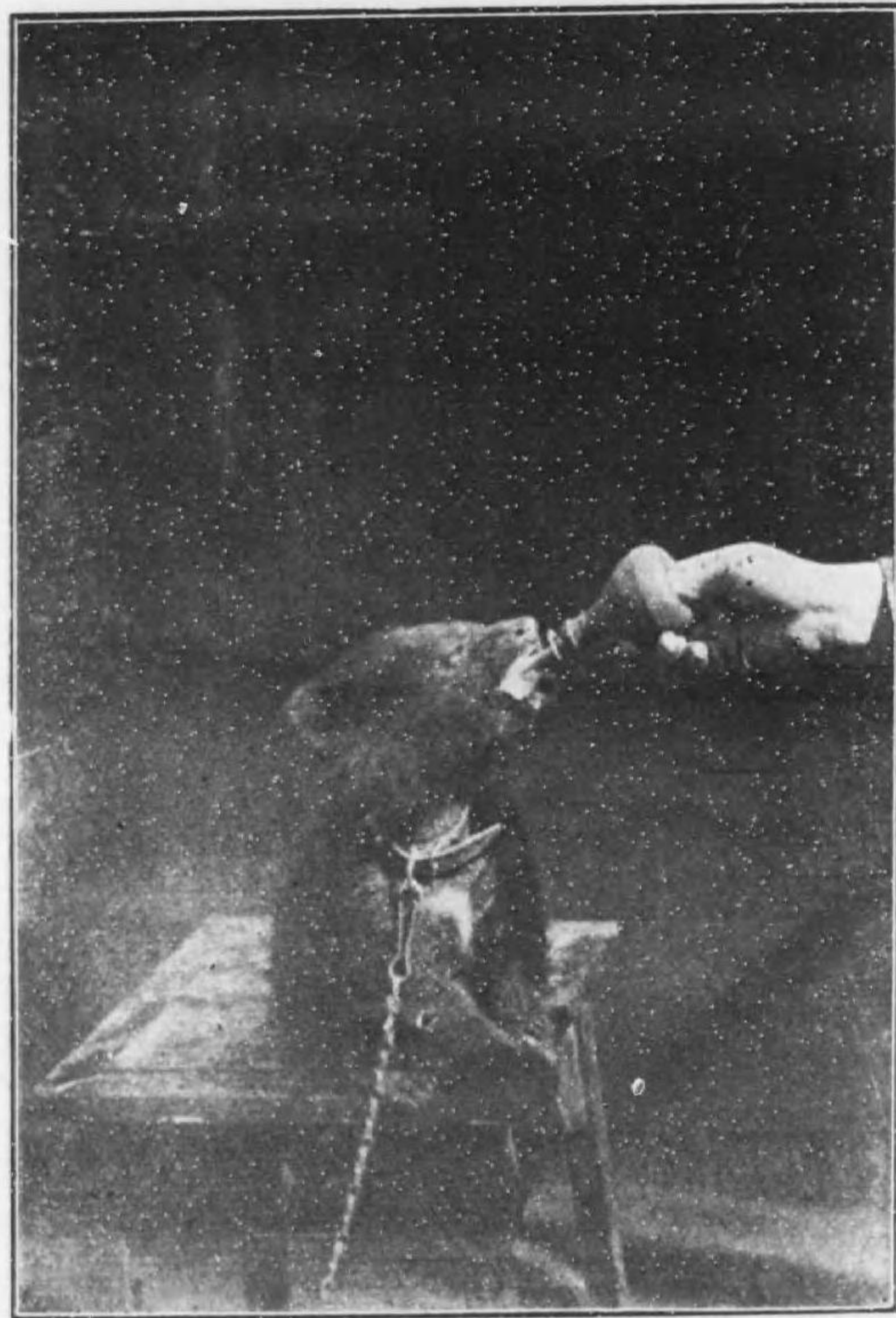
熊



黑猿

此猿は南洋産にて毛稍黒く寒氣を越すに困難なり。

熊



ひぐま (熊)

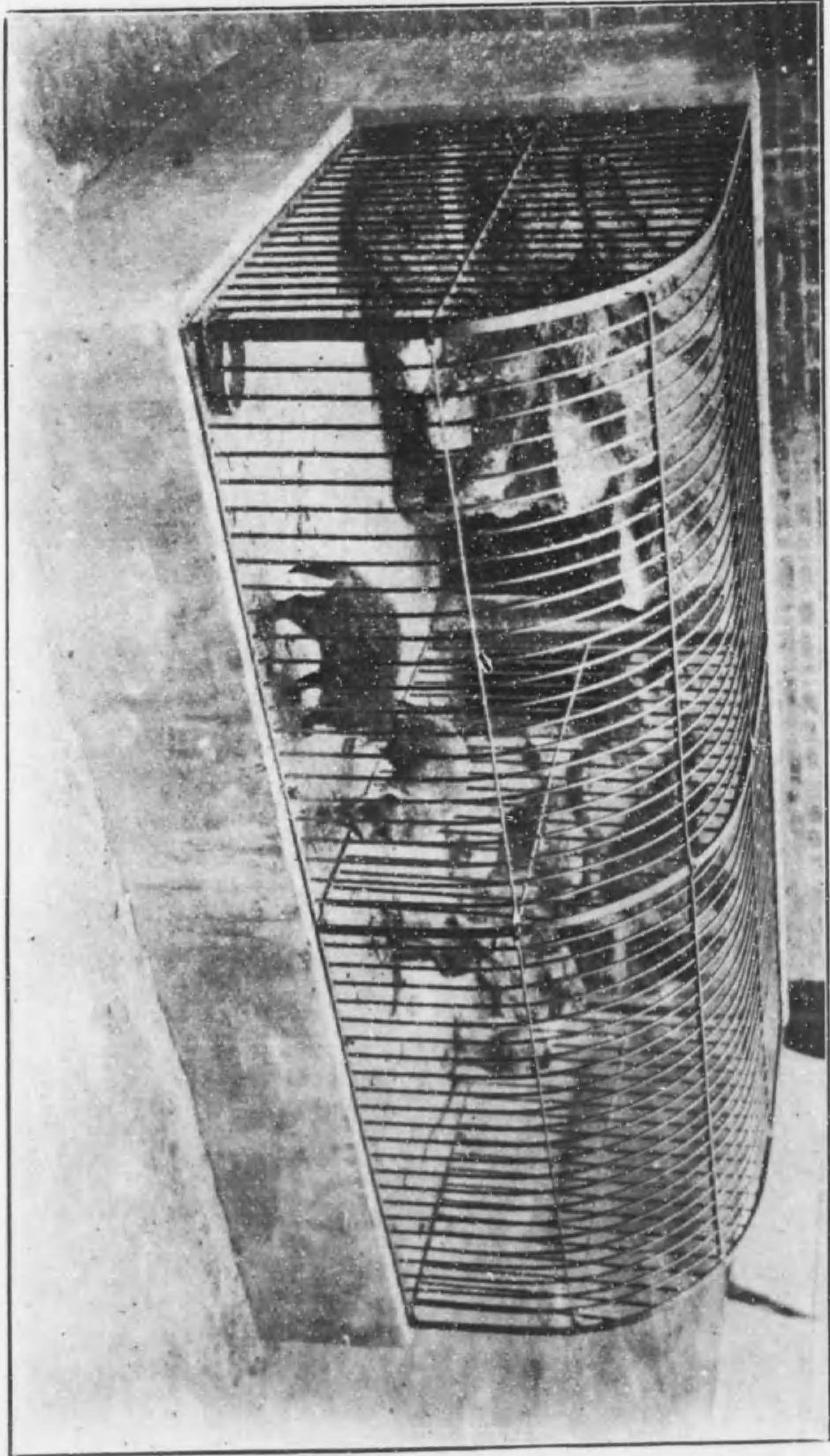
此熊はむねに白き月形無く毛は褐色にて六七尺に達し力甚だ強く他の獣は趾先にて歩む熊は後足のかゞとにて立ち歩む、牧場等に来り牛馬をかつぎ去り喰ふ、常食肉類又は甘芋を食す、寫眞の圖は北海道産なり。

熊

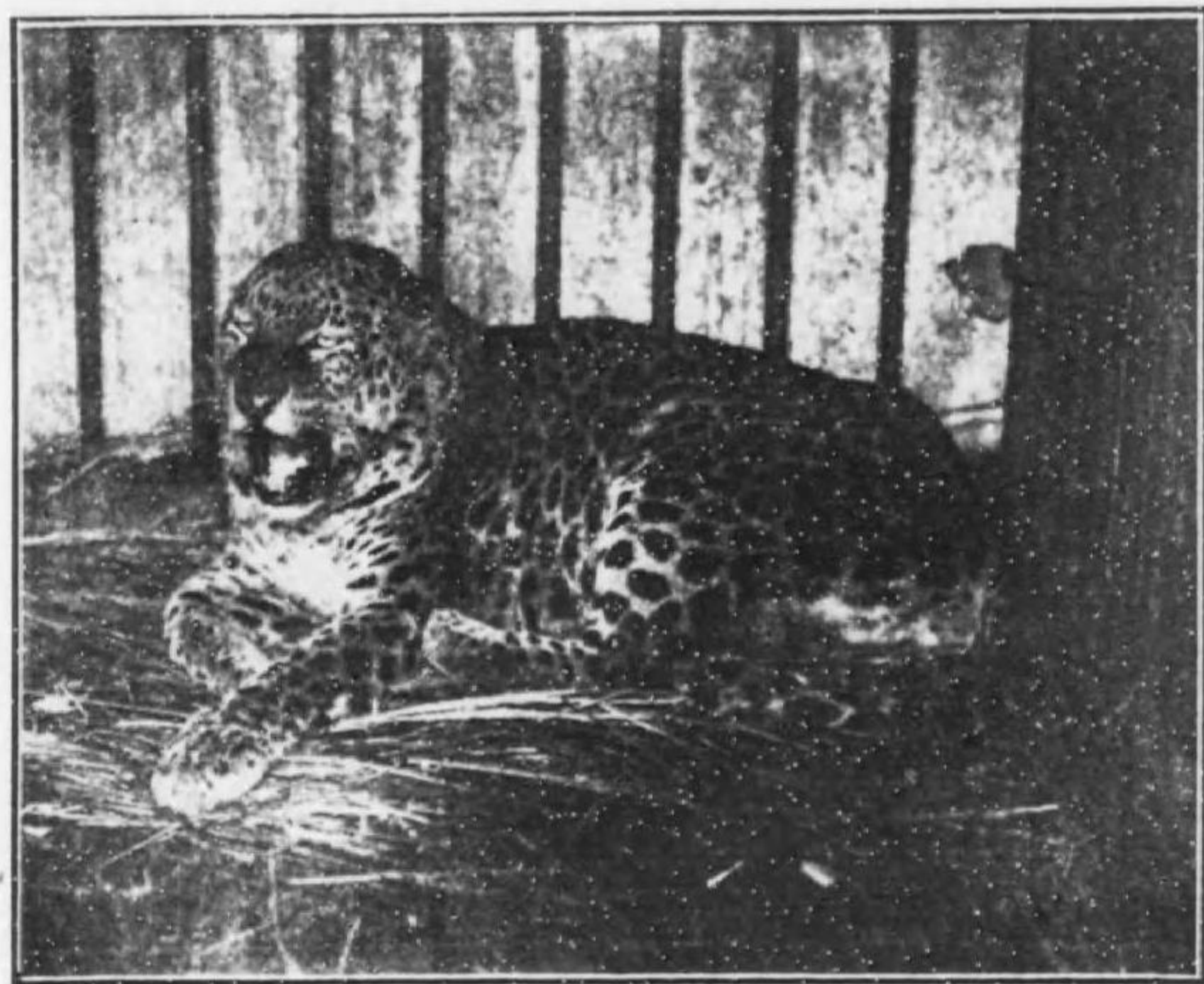
此熊仔は越前の山奥にて出産し約
五十日位にて當場に收容され場主
自ら人工哺乳にて飼育中を撮影し
たる圖。

北海道、ロシア、歐洲等に産す。

罾



豹



たぬき (狸)

此狸は日本産にて常食肉類を良とす。
交尾期は三月頃年一回妊娠六十一日に
二、三匹を産す、飼育は非常に簡単なり、長
さ五尺奥行四尺高さ四尺五寸位の箱に
て蕃殖する事を得。

へ う (豹)

黄褐色にして多数の黒斑有り虎より稍々小なれども性質温順の如き模様なれど其心の變化早き者にて猛獸を使ふ藝人も豹の爲に一命を捨つる者多し、獅々、虎の如き猛獸にても心の變化殆どすくなし。英領印度に於て豹の爲めに昨年殺害された人数四百餘名と云ふ事實を物語つてゐる。

産地アフリカ、印度、滿州

常食肉類一日平均三百目を喰ふ。

●一ヶ年捕獲數豹五千二百餘匹。

A 黄嘴錦靜

C 稿紅雀

B 尾長錦靜



A

B

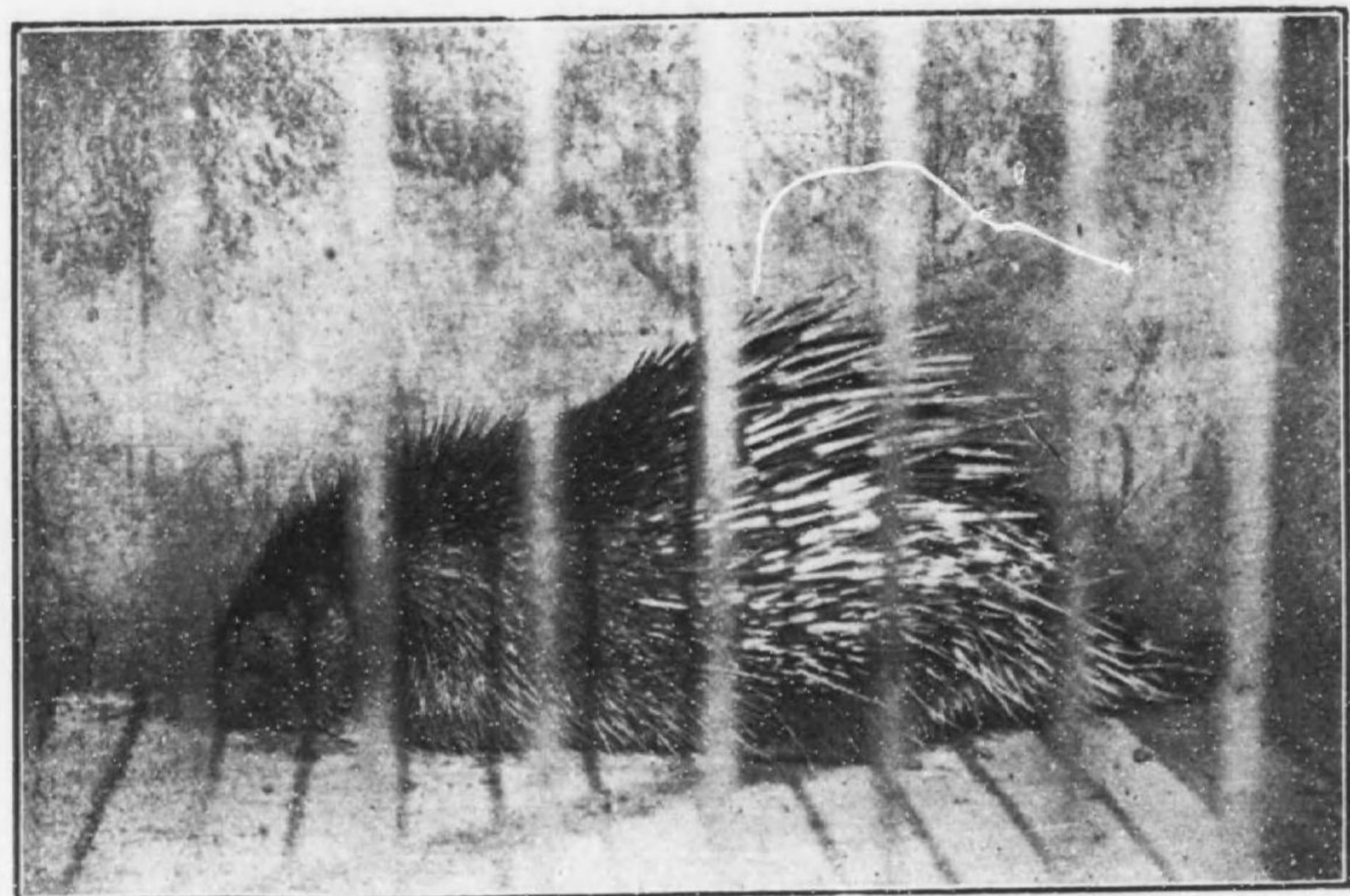
C

黃喉鵪鶉

黃喉鵪鶉

黃喉鵪鶉

猪 豪



るどんこ



やまあらし (豪猪)

此獸は背部の毛太き白黒の縞を有する長き棘にて敵と戦ふ時き體を圓めて防ぐ、牡は首長き棘を有す牝は稍々細くして短し

産地 アフリカ、印産、ヨロッパ

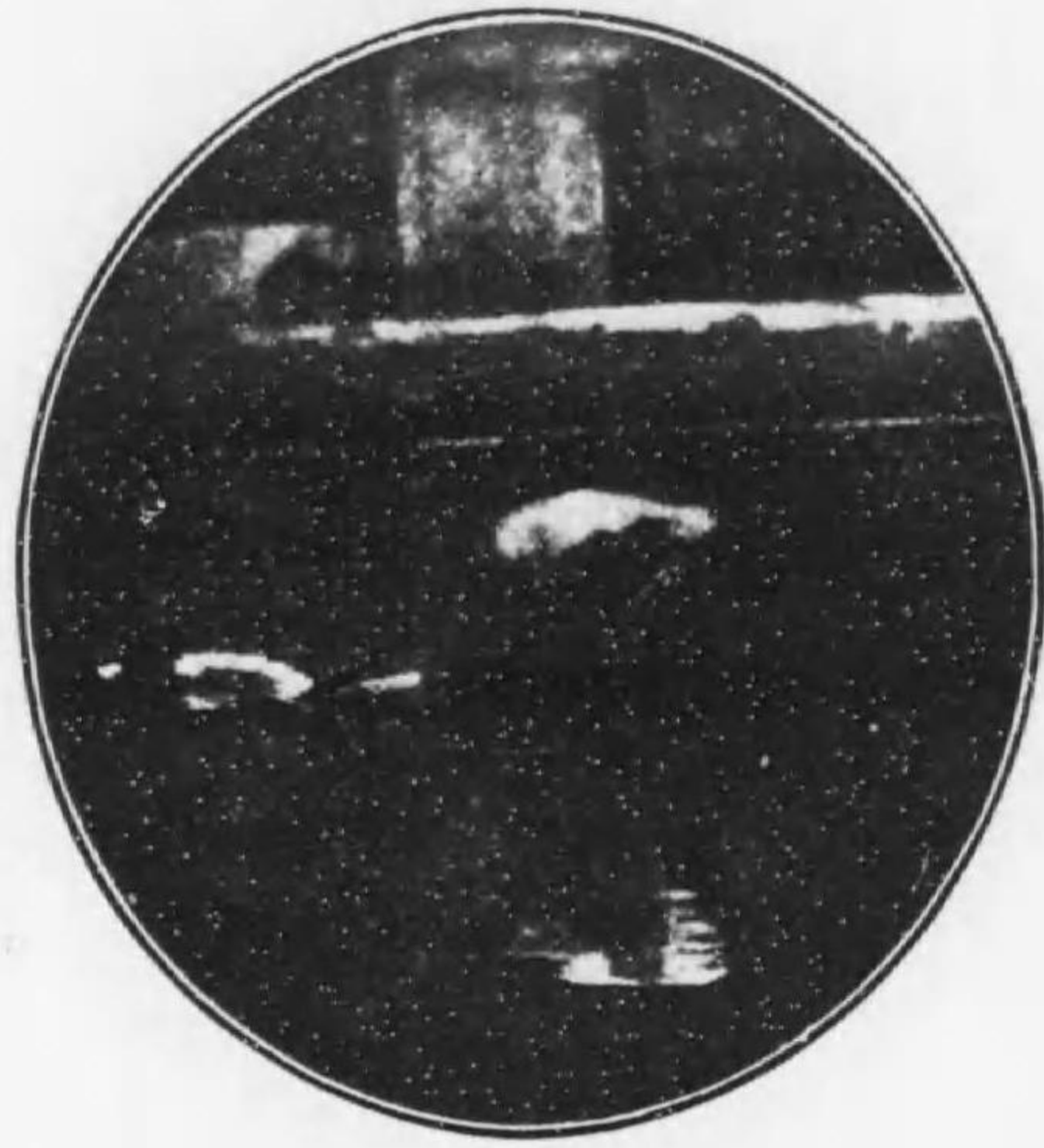
常食 甘芋

コンドル

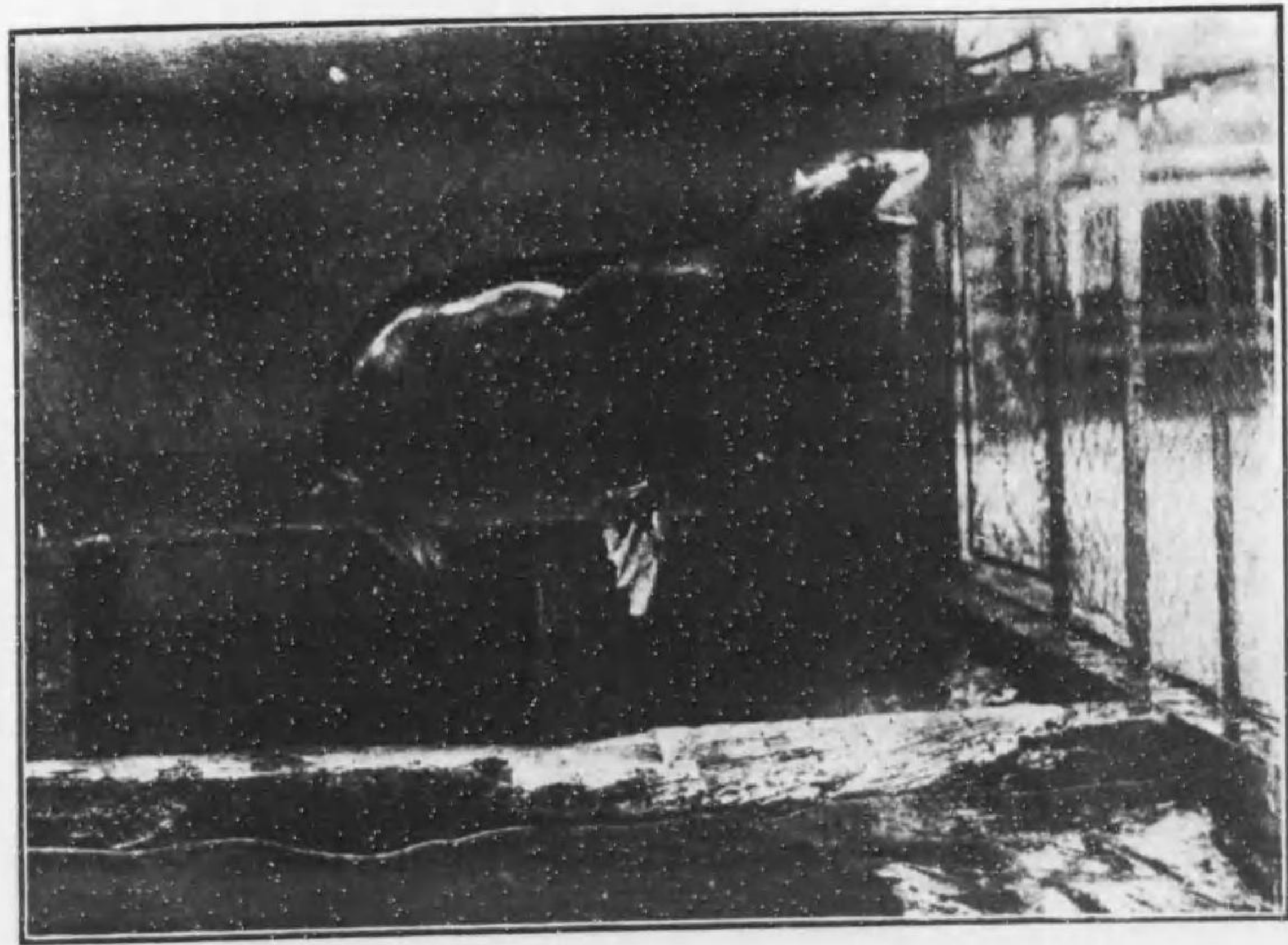
此の鳥は南亞米利加のアンデス山脈に棲息し海拔六千呎乃至九千呎の高處に在り餓饑に迫るにあらざれば雪線以下に降る事なく常に高峰斷壁に身を置き山中に棲む「ラマ」の類の屍肉を食とするも食物に窮する時は牧場を侵し牛馬を襲ふ。また亞米利加「ライオン」の稱ある「ビューマ」の如き猛獸に襲撃を加ふることあり其猛獸家畜を斃さんとするや「コンドル」の數羽は連合して獸に向ひ巧に羽を利用して一上一下攻撃を加へ先づ獸を失明せしめその抵抗力なきに至りて之れを群り喰ふ。翼は強大にして兩翼を擴ぐれば大なるものにて一丈二尺に達す其の飛翔の状は見事にて能く長時間の飛翔に堪う雌は雄に比較すれば体や、小さく首に白毛及び頭に肉冠なし此鳥を捕獲困難なり本圖は雄なり。

頂丹





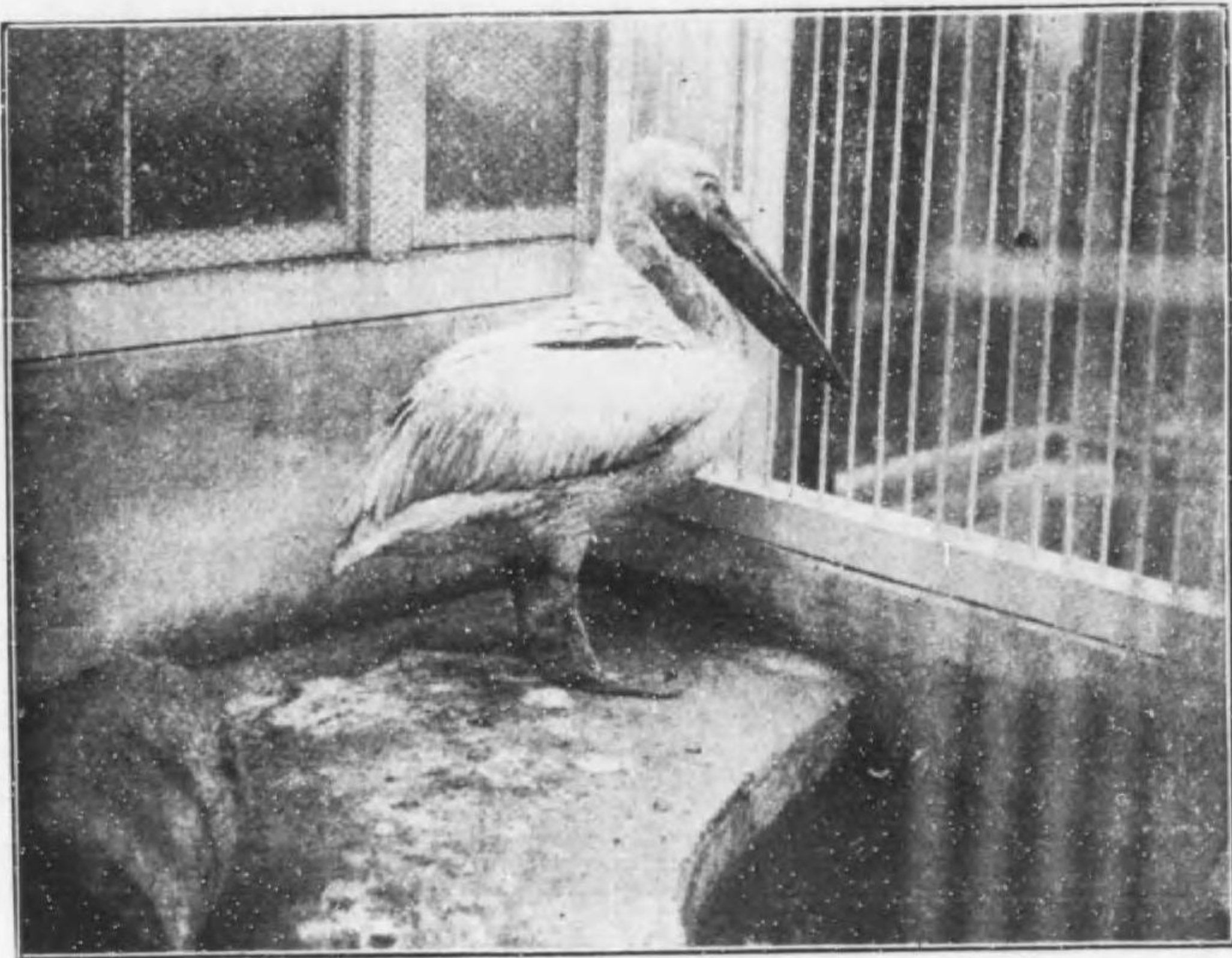
海 驢



丹 頂

鳥の司と云ふ位にて昔は東部西比利亞の産で
 日本に渡り越冬したるものにて近頃は殆ど其
 影も絶たり聴くに山口縣熊毛郡及鹿兒島縣出
 水郡に渡ると云ふ噂あり是れらの鶴は眞那鶴
 鍋鶴の二種です常食は鱈、小麦、粉杯を喰ふ
 孵化後七ヶ年經過すれば親鳥となり産卵す卵
 は重量七十々目内外、抱卵三十三、四日で孵化す

鳥ンガルペ



おつとせい (臘肭獸)

あじか(海驢)あざらし(海豹)せいうち(海馬)りぼん
おつとせい等皆寒地の海に棲み皆群をして生
活しその毛は短くして密に生え四肢鱗状をな
す數百の群睡眠するも必ず其内の一頭は睡眠
せず警戒し若變事有る場合は大聲を以て叫ぶ
此寫真はあじかにて臘肭獸に似たり常食魚類
を喰ふ一日平均一貫五百目を飼育分量とす

鹿



ペルガン鳥

此鳥は南洋産にて常に魚類を常食
とし家鴨の如く水中を泳ぐ、食物を
喰ふ時き口を開き下顎に大なる膜
囊をひろげ魚類を掬ひ喰ふ

駝 駱



鹿

牡に角有り角は骨質にて年々秋末
に落し翌春新しく發生し飛ぶ事高
さ六尺位の板塀自由に飛越し得る
なり、角は細工物に使用せらる

綿 羊



駱 駝

此獸はアフリカ、印度に多く家養せられ沙漠横
断する場合非常に適し其他荷物運搬に使用せ
られ毛は織物に用ふ、背部に四升位の貯へ得る
水囊數十個を有し其中に水を貯へ日數長き沙
漠の旅行を堪へ得る、足の下部は枕の如き型に
て厚く大なり沙地を歩行するも埋まる虞れな
し。

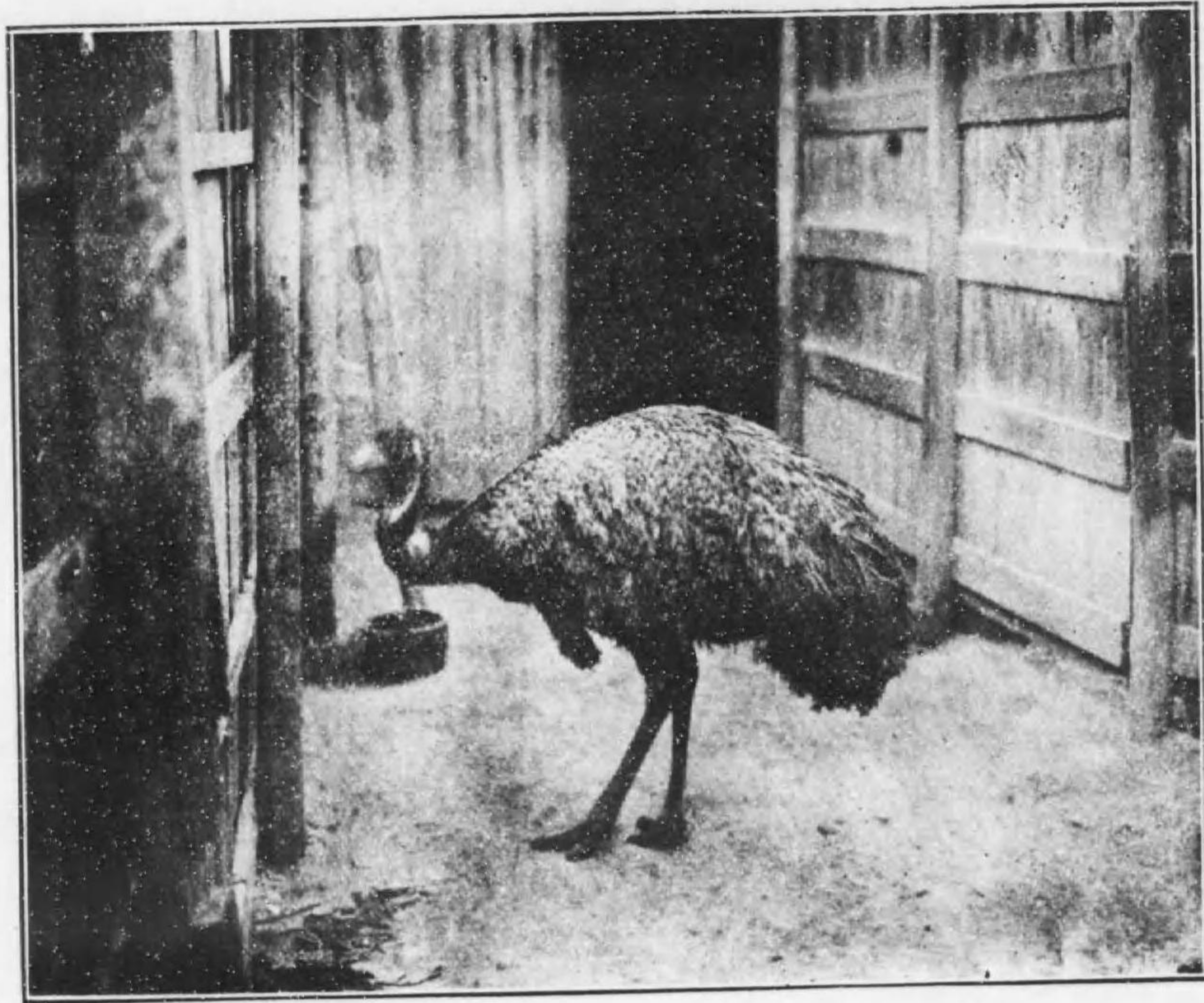
狼 縞



緬 羊

此種は家畜の一にて飼育は寒氣の地に適し暖地にて飼育する時き毛の發育稍々少なく病氣も多し其毛を刈り毛織物に用ひらる、直輸入は今日迄に當場研究の結果後足に故障多く最後に歩行不可能となる例多し、種類にはランドーメリ種、シユワツシヤイヤ種、サウズダウン種、改良メリ種、改良サンブシヤマン種あり。

鸕 鶒



はいゑな (縞狼)

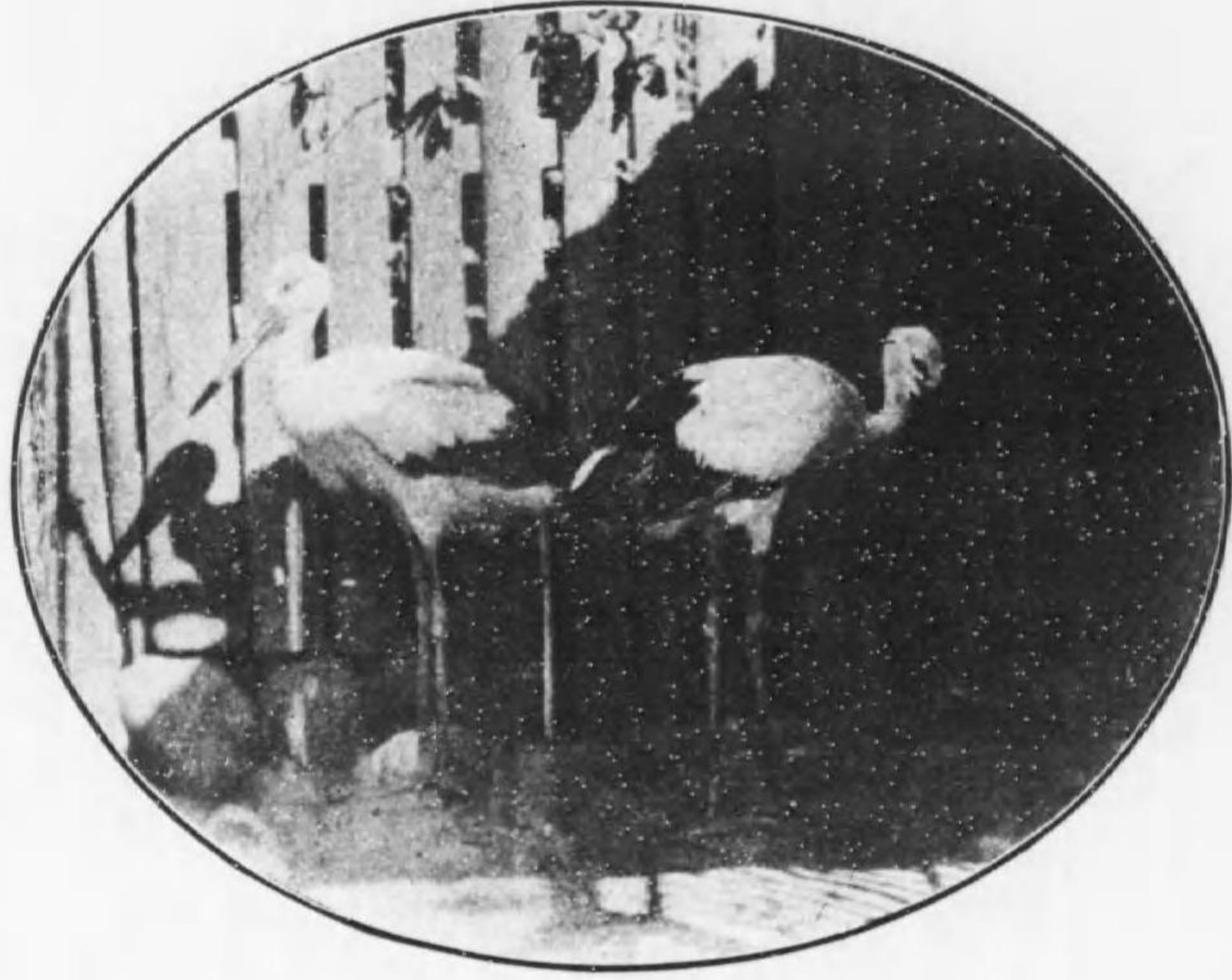
此獸は性質臆病で晝は暗處草叢に
隠れ夜出て肉類を食す又人里に來
り家畜を奪ふ
産地 印度、アフリカ等に産す

ゑみゆ (鶉鴒)

此鳥の翼は無く羽は總て毛の様に細長く飛ぶ事出来ず歩行のみにして普通の鳥の抱卵と餘程異なり居る普通鳥類は一般に雄雌交代にて抱卵すれど此鳥に限り一定の巢場を定むると共に雌は其巢中の一箇約八百々目位の卵を十二三程を産卵し雄鳥に拘卵せしめ置き第一の雄鳥に巢を渡し第二の雄鳥を撰び其鳥と共に他に行き巢を又作り前の通に渡し第三雄を撰ひ行と云ふ鳥で雄は雌に換り大切に抱卵し孵化する雛を雄一羽にて飼てあげる鳥です

産地 濠洲 食物 果實 青草

鶉





河 瀬

ニッポンのとり (鶴)

此鳥は鶴に似たり口嘴太く長し尾
は黒く他は白色羽にて足部は赤色
常食魚肉を喰ふ

産地 満洲

かわうそ (河獺)

此獸は水陸自由にて魚類を常食とし實に水中に棲む魚類を機敏に捕獲す手足の内部は非常に軟く鱗を両手にて合せ握る、指は人類に似たる小さき爪を有す人に能く馴れる獸なり

産地 日本 滿洲、印度

大正十五年十一月一日

発行所 日本動物園育種
東京市豊島区西池袋
電話二八二八
印刷所 山田印刷局
電話二八二八

かわうそ (河鱉)

此獸は水陸自由にて魚類を常食とし實に水中に棲む魚類を機敏に捕獲す手足の内部は非常に軟く鱗を両手にて合せ握る、指は人類に似たる小さき爪を有す人に能く馴れる獸なり

産地 日本 滿洲、印度

大正十五年十月一日發行

名古屋市西區西區町一三二地

發行所 社本鳥獸飼育場

電話兩二〇八三番

名古屋市東區岩井町三地

販賣所 社本鳥獸販賣部

名古屋市東區鍋屋町二ノ一六地

印刷所 山田活版印刷所

電話兩二八五番

終